

地盤調査特記仕様書

A. 調査概要

調査名称	東北大学（星陵）ライフサイエンスラボ用地地盤調査業務		
調査場所	宮城県仙台市青葉区星陵町1-1（星陵団地境内）		
調査期間	令和 5 年 1 月 29 日（木）		
調査内容	( 1 ) 機械ボーリング 一式	<del>（ 2 ）標準貫入試験 一式</del>	一式
	( 2 ) 標準貫入試験 一式	( 7 ) 物理的性質試験 一式	一式
	( 3 ) 孔内水平載荷試験 一式	<del>（ 4 ）速度検層（ P S 検層） 一式</del>	一式
	( 4 ) 速度検層（ P S 検層） 一式	( 9 ) 横断地震波形 一式	一式
	( 5 ) 常時微動測定 一式	( 10 ) 報告書 一式	一式
調査目的	本調査は、基礎構造や免震構造等を検討するための資料を得ることを目的とする。		

B. 一般特記事項

総則	本調査の請負者は、国立大学法人東北大学工事請負契約規則第17条別記第1号の工事請負契約基準、文部科学省地盤調査標準仕様書（平成23年版）、文部科学省建築構造設計指針（平成21年度版）、本特記仕様書を含む図面1枚に基づき調査を実施する。
その他	( 1 ) 請負代金の支払い 請負代金は、国立大学法人東北大学財務部より、設計図書に示す調査内容がすべて完了した後に1回で支払う。 ( 2 ) 工事請負契約基準の適用について 当基準第3の規定の通り、工事費内訳明細書及び工程表を提出すること。 ( 3 ) 貸与資料について 本調査の参考資料として、次の資料を貸与する。なお、貸与資料は調査完了後すみやかに返却すること。 ・東北大学医学部付属動物実験施設用地地盤調査工事 ・東北大学（医務）病棟新営外地盤調査 ( 4 ) その他 ・GL+1.5m程度までを手掘りとする等、地下埋設物を損傷させることがないように配慮する。 ・調査孔は、監督職員の指示により処理する。 ・調査用水は、境内より無慮供給とする。 ・調査完了に際しては、後片付け及び清掃する。 ・工事車両の駐車位置等については、監督職員と協議の上、施設の運営に支障がないよう配慮する。 ・建物に近接して調査を行う際には、目隠しシートを設置する等、見合い防止のための配慮する。

C. 特記事項

1章 一般共通事項	1.3.1.0 作業の検査 1.3.1.1 作業の立会い等 監督職員の立会い及び検査は、次の場合に行う。 ( 1 ) 調査位置の決定 ( 2 ) 掘削開始前 ( 3 ) 機械ボーリングの掘進完了後 ( 4 ) 設計図書に明示した地層構成と著しく異なる場合 1.5.1 報告書等の提出 報告書の提出部数は4部とする。																																														
2章 機械ボーリング	2.1.2 調査 調査の位置、方向、深度、孔径及び数量は、次による。 <table><tr><th rowspan="2">S-122P No.</th><th rowspan="2">方向</th><th rowspan="2">深度 (GL-) (m)</th><th rowspan="2">孔径 (cm)</th><th colspan="6">参考数量 ( m )</th></tr><tr><th>砂礫</th><th>凝灰岩</th><th>泥岩</th><th>砂岩</th><th>粘性土</th><th>計</th></tr><tr><td>1</td><td>鉛直下</td><td>20m</td><td>66</td><td>6</td><td>2</td><td>7</td><td>5</td><td>-</td><td>20</td></tr><tr><td>2</td><td>鉛直下</td><td>22m</td><td>66</td><td>8</td><td>2</td><td>7</td><td>5</td><td>-</td><td>22</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	S-122P No.	方向	深度 (GL-) (m)	孔径 (cm)	参考数量 ( m )						砂礫	凝灰岩	泥岩	砂岩	粘性土	計	1	鉛直下	20m	66	6	2	7	5	-	20	2	鉛直下	22m	66	8	2	7	5	-	22										
S-122P No.	方向					深度 (GL-) (m)	孔径 (cm)	参考数量 ( m )																																							
		砂礫	凝灰岩	泥岩	砂岩			粘性土	計																																						
1	鉛直下	20m	66	6	2	7	5	-	20																																						
2	鉛直下	22m	66	8	2	7	5	-	22																																						
3章 サウンディング	3.1.2 試験 試験の位置及び深さは、機械ボーリングと同じとする。 N値0.0以上は0.0とする。																																														
4章 載荷試験	4.1.2 試験 試験の位置及び深さは、次による。 <table><tr><th>S-122P No.</th><th>試験を行う深さ (GL-) (m)</th><th>備考</th></tr><tr><td>2</td><td>5m</td><td></td></tr></table>	S-122P No.	試験を行う深さ (GL-) (m)	備考	2	5m																																									
S-122P No.	試験を行う深さ (GL-) (m)	備考																																													
2	5m																																														
5章 物理探査・検層	5.1.2 調査 測定的位置及び深さは、次による。 <table><tr><th>S-122P No.</th><th>調査を行う深さ (GL-) (m)</th><th>備考</th></tr><tr><td>1</td><td>孔底まで1m以内ごと</td><td>工学的地盤の傾斜を確認すること。</td></tr></table>	S-122P No.	調査を行う深さ (GL-) (m)	備考	1	孔底まで1m以内ごと	工学的地盤の傾斜を確認すること。																																								
S-122P No.	調査を行う深さ (GL-) (m)	備考																																													
1	孔底まで1m以内ごと	工学的地盤の傾斜を確認すること。																																													
	5.3.2 調査 測定的位置及び深さは、次による。 <table><tr><th>S-122P No.</th><th>調査を行う深さ</th><th></th></tr><tr><td>1</td><td>・地表と孔底（1秒計） ・地表（5秒計）</td><td></td></tr></table>	S-122P No.	調査を行う深さ		1	・地表と孔底（1秒計） ・地表（5秒計）																																									
S-122P No.	調査を行う深さ																																														
1	・地表と孔底（1秒計） ・地表（5秒計）																																														

1章 サンプリング

1.1.2 サンプリング  
土質試験に用いる試料の採取は、シンワオールサンプラーとし、位置、深さ及び数量等は、次による。  

試料の状態	S-122P No.			試料使用試験（対象土質）
<del>（ 6 ）圧入試験</del>	<del>1</del>			<del>（ 6 ）圧入試験（軟弱土質）</del>

2章 土質試験

2.1.2 土質試験  
土質試験の区分、試験方法及び数量等は、次による。  

区分	試験項目	試験方法	数量	単位
物理的性質試験	土粒子の密度試験	JIS A 1202	2	試料
	土の含水比試験	JIS A 1203	2	試料
	土の粒度試験	JIS A 1204	2	試料
	土の液性限界試験	JIS A 1205	2	試料
	土の塑性限界試験	JIS A 1205	2	試料
	<del>土の透水性試験</del>	<del>（ 10 ）土の透水性試験</del>	<del>（ 10 ）土の透水性試験</del>	<del>（ 10 ）土の透水性試験</del>
力学特性試験	<del>（ 11 ）圧入試験</del>	<del>（ 11 ）圧入試験</del>	<del>（ 11 ）圧入試験</del>	<del>（ 11 ）圧入試験</del>
	<del>（ 12 ）圧入試験</del>	<del>（ 12 ）圧入試験</del>	<del>（ 12 ）圧入試験</del>	<del>（ 12 ）圧入試験</del>
	地盤材料の地盤工学的試験	JIS A 1202	2	試料
	（ 13 ）圧入試験	（ 13 ）圧入試験	（ 13 ）圧入試験	（ 13 ）圧入試験

横断地震波形

作成する波形は原則次によるものの、監督職員と協議の上、決定すること。  
・告示波  
〔平12建告第1461号〕  
・横断地震波（サイト波）  
〔想定地震動「東北地方太平洋沖地震（2011.3.11）」、「長野・利根新震（活断層型）」、深部地盤モデル作成、新層モデル作成、統計的グリーン関数法計算〕  
・地震波（既往波）  
〔エルセントロ（El Centro）1940、タフト（Taft）1952、八戸（Hachinohe）1968〕

備考

調査名称	東北大学（星陵）ライフサイエンスラボ用地地盤調査業務	縮尺	A1: - A3: -	図面番号	特-01
図面名	特記仕様書・案内図・配置図			通し番号	01/01
令和 5 年度	東北大学施設部				